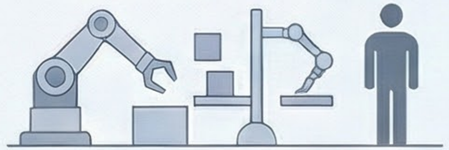
AGIへの階段：ARC-AGIベンチマークが示す知能の進化と2031年への予測

ARC-AGI-3：エージェント的知能への挑戦（2026年〜2031年予測）

新指標「RHAE（相対的人間行動効率）」



正確率ではなく、人間と比べた「行動の無駄の少なさ」を厳格に評価。

静的な推論から動的な探索へ

インタラクティブな環境で、自らルールと目標を発見する能力が問われる。

第3のパラダイム

予測 → 圧縮

「予測から圧縮へ」の移行に、3〜5年の期間を要する見込み。

ARC-AGI-2：急速な攻略（2025年3月〜2026年2月）

11ヶ月で70%の壁を突破

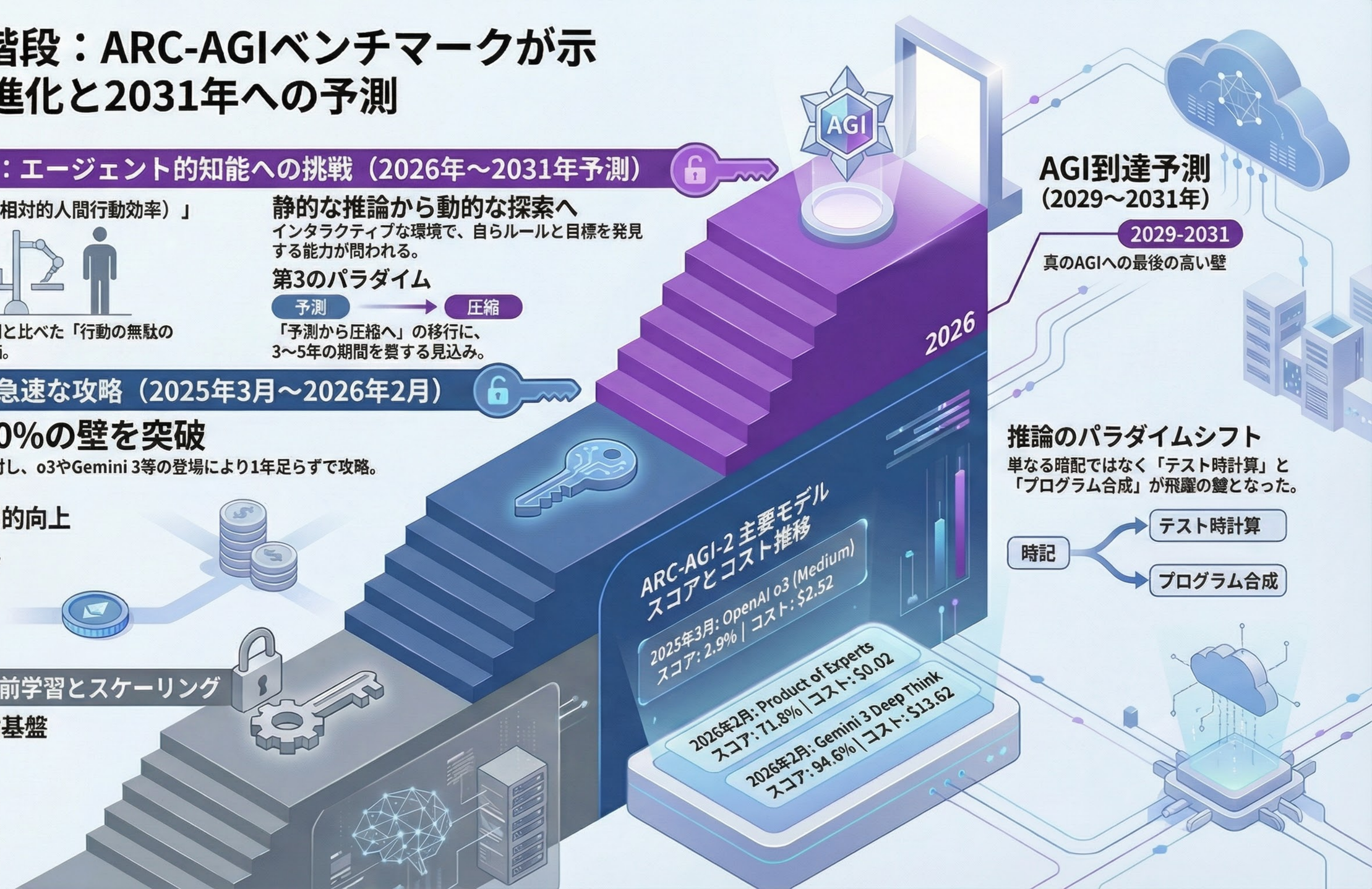
初代が5年要したのに対し、o3やGemini 3等の登場により1年足らずで攻略。

コスト効率の劇的向上

$4,500 / タスク

ARC-AGI-1：事前学習とスケーリング

初期の静的推論基盤



AGI到達予測（2029〜2031年）

2029-2031

真のAGIへの最後の高い壁

推論のパラダイムシフト

単なる暗記ではなく「テスト時計算」と「プログラム合成」が飛躍の鍵となった。

時記 → テスト時計算 / プログラム合成